

平成26年度
第2回 神崎中学校区適正配置地域協議会

日時：平成26年8月26日（火）

19:00～

場所：こうざき小学校1階ホール

I 開会のことば

II 会長あいさつ

III 議事

1 スケジュール等について

2 今後の協議内容について

3 その他

IV 閉会のことば

Ⅲ 議事

1 スケジュール等について

(1) 統合までの手順について

(2) 統合の時期について

○ 木佐上小学校区の意向

○ こうざき小学校区の意向

○ 大志生木小学校区の意向

○ H26年度中の地域協議会日程（案）

① 7月15日（火）・・・済み

② 8月26日（火）・・・本日

③ 10月14日（火）

④ 11月25日（火）

⑤ 2月10日（火）

2 今後の協議内容について

(1) 校区説明会 質疑の要点整理について

(2) 校区説明会 主な質疑の回答について

3 その他

(1) 第3回地域協議会の開催について

第2回 神崎中学校区適正配置地域協議会

資 料 集

1 スケジュール等について

(1) 統合までの手順について

- ① 地域協議会における合意形成 → 報告書を取りまとめ、市教委に提出
- ② 市教委で「統合」の議決
- ③ 市議会に「大分市立小学校設置条例の一部改正案」を提出
- ④ 市議会で議決 → 可決の場合に施行
- ⑤ 「神崎中学校区実施計画」の策定完了（市教委）

(2) 統合の時期について

「大分市立小中学校適正配置基本計画」

・児童数の推移等を見極めながら、平成30年度頃までの実施を目指します。

① 平成26年度末（H27年3月31日）で統合合意の場合

10月 教育委員会に統合に係る文書を提出する。

11月 12月議会に議案を提出する。

② 平成27年度末（H28年3月31日）で統合合意の場合

10月 報告書を取りまとめ、教育委員会に提出する。

11月 12月議会に議案を提出する。

～ 3月 実施計画を策定する。

③ 平成28年度末（H29年3月31日）で統合合意の場合

10月 報告書を取りまとめ、教育委員会に提出する。

11月 12月議会に議案を提出する。

～ 3月 実施計画を策定する。

④ 平成29年度末（H30年3月31日）で統合合意の場合

10月 報告書を取りまとめ、教育委員会に提出する。

11月 12月議会に議案を提出する。

～ 3月 実施計画を策定する。

神崎中学校区説明会（H26. 5月実施分） 質疑の要点整理

1 統合について

- 児童生徒への配慮について、「学校統合により適正配置を実施する場合、統合前から学校間の交流活動を計画的に行うなど、統合後の教育活動や学校運営が円滑に移行できるよう、十分な準備期間と配慮のもとに進める。」とあるが、統合前の学校間の交流活動で、こうぎき小に行くとなれば、その交通手段をどう考えているのか、十分な準備期間とはどのくらいを予定しているのか。
- 神崎中学校での説明会があって以後、木佐上小学校の児童数減の年が続いた。予想以上の効果があったのではないかと。思いっきり児童数の減少が進んでいる。したがって30年度、といていた計画の見直しが必要になって来ている時期なのではないかと考えたりする。
- 木佐上小学校に通うつもりで入らせた子どもたちが別の学校へか通うということは、保護者にとっては非常に厳しいといった状況であるということを確認していただきたい。
- 地域協議会はいつからスタートしていつごろ定着する予定か。来年子どもが入学をするので、それまでに話に決着をつけてほしい。30年頃までに統合したとしてもその子が4年生、5年生のことになってしまう計画になる。どれくらいで決着する予定か教えていただきたい。
- もし、早期に話がまとまった場合、すぐに統合というのはできるのか。来年度すぐ、というのは可能なのか。
- 段階的な統合の「段階」の意味は、たとえば大志生木が先だとか、木佐上が先だとかそういう「段階」ということでよいか。
- まとまった時点で、そこから事務手続き等あると思うがどのくらいかかるのか。
- 大志生・こうぎき・木佐上小学校と3校あるが、大志生木は児童数がまだ多いので、統合についてはまだ先でいいんじゃないかという話になってきている。そういう中で地域協議会で3校で統合するというような合意が得られれば良いが、得られない場合は段階的にお願いしたい。
- 木佐上小学校はPTA保護者も、はやく転入したい、4月からこうぎき小学校に行きたいとの気持ちがPTA総会であったと聞いた。統合が来年3月までにできるかということで教育企画課へ話を聞いたのだが、地域協議会の中で協議をやらないといけないとのことだった。地域協議会で合意がきちんと得られない場合は段階的にできるかどうかを知りたいと思う。
例えば26年度末に統合し廃校するとなれば、現実として期間が間に合うかどうか懸念している。
- 大分市としてたぶんこれが初めての統廃合となると思う。統廃合にはそれなりに準備期間がかかるが、現実にはできるかどうか、そしてできるとなれば確実にこれを考えてやっていかなければならない。
かつて、佐賀関の一尺屋中学の統廃合があったが、そのときには2年かかった。
廃校となればその学校の歴史もあり、地域の方の思い、そういうものも考えて、私たちは地域の人にアンケートをとって合意をもらっていかないといけないと考えた。学校に通われてる方だけでなく、地域の方もこの小学校を出ているはずなので、138年という歴史を抱えた学校なので簡単に廃校とせず、じっくり考えてやらないといけないと考えている。
- 今後どのように進んでいくかというのが皆さん分からないと思う。今日、木佐上小、大志生木小の校区会

長とで、自治委員の総会のあとに話をしたが、木佐上小校区は「来年の4月には統合したい」、大志生木小校区は来週の説明会があつてはつきりすると思うが、来年の4月に向けて動きが早くなると私は見ている。今日の説明会で、こうぎき小校区はどう受け止めていくかということも含めて、今日しっかり説明も聞き、納得して共通認識に立つ方がいいのではないのかと思う。今までの説明は総合的な話なので、今後具体的にどう進んでいくのかといった話をしたい。

- 今話を聞いて思ったのだが、それは私たちがまとめる話をして、それを教育委員会が聞いて実行していく、ということですか。ということは、今、木佐上小校区、大志生木小校区で、学校の統合の話を進めていこうとしているみたいですが、それを私たちがやっていかなければいけないのですか。
- 私が今日一番聞きたかったのは、統合に向けて、こうぎき小学校にとっては、木佐上小にも大志生木小にも来てもらって、統合に向けて進んでいくことを「協力する」、それとも「まだ早すぎる」とか、そういう意見をもっと聞きたい。そうすることで、今後、木佐上小や大志生木小の校区会長と会ったときに、こうぎき小校区の意見を出せる。今日はそういう意見を聞きたい。
- 2、3年前の話では、5年後には統合という答申が出された。今日の話では、何年度には統合するという計画が決まっていないような印象だが、その辺はどうか。
- 今日、説明していただいて新たに懸念材料が増えたと感じた。児童・学級数の推移からみて、佐賀関小とこうぎき小が将来的に統合の話ができるのではないかと不安を感じた。
- 佐賀関中学校区と神崎中学校区は守ってほしい。統合とにならないようお願いしたい。
- 「段階的に統合」の意味について、まず、木佐上小とこうぎき小が統合し、その後大志生木小が統合するということか。
- 統合までの準備期間(必要な時間)について教えてほしい。

2 通学の安全性と支援について

- 通学の安全確保と支援についてだが、通学時間・通学距離の基準はどのくらいになっているのか。
- この地区で木佐上小学校4キロ以上というのを満たせばいくら補助が出るのか。
- 通学路の安全確保に努めますとあるが、ここに通っている児童がどのような通学路を通ってきてるか把握はされてると思いますが、具体的にどのように通学路の安全確保するのか。
- 通学路の安全確保で、できることできないことあるが、とおっしゃったがやってもらわなければ困る。
- 安全のことについてだが、保護者の中にはこの木佐上小学校に通える距離のことを考えて、こちらに入ってきて定住された方がいる。その生活が一気に変わるということで、安全面ということはこの木佐上小学校の距離のことだけでなく、どちらかといえば田舎ということで街灯のありきとかも全部含めてここに入ってきた。この環境が統合によって一気に通学が変化するというのでかなり不安を抱えている。先ほどあった「基準」を外れても通学の支援ないし補助は受けられるのか。
- 通学について保護者はかなり不安を持っている状態である。特に先ほど市教委のほうからあったように、スクールバスの配置だけでなく、県道の整備、完全な歩者分離などして安全を確保していただきたい。
- 小学校の通学距離と通学時間の基準についておしえてほしい。
- バスで通学となると思うが、バスの負担は保護者側とするのか、市の側とするのか。また、実際に補助している例について教えて下さい。

- 交通手段は決まっていないということでよいかの確認と、交通手段の選択肢についてタクシーの利用も検討してほしい。
- 現状で学区外就学をしている方について、交通費の補助があっているのか。統合後の交通手段、時間帯、待っている間の対応について。
- 保護者のアンケートで、通学面の問題についてが多かった。
- 距離的に小学校で4キロ、中学校で6キロ以上であれば補助の対象となるのか。

3 小中一貫校について

- 小中一貫教育とあるが、連携型、一体型のどちらを考えているのか。

4 校舎等について

- こうざき小学校に統合した場合、仮に校舎はどことも改築はされないのか。もし、されるのであれば、佐賀関地域の方は給食の自校式というのを知らない方が多い。自校式というのは、自分の学校の中に給食室があって、そこで調理をして、子どもたちが出来立ての温かい給食を食べるというシステム。
今ここは東部共同調理場から運ばれているが、過去に2回ほど給食が運ばれてこなかった。統合されるのであれば、ぜひ自校式の給食を子どもたちに食べさせてあげたい。
- 市内に自校式の給食をしているところがあるのか。
- 統廃合後の学校の使われ方についておしえてほしい。大分市では何か考えがあるのか。

5 小規模特認校について

- 小規模特認校とあるが、これはこっち(神崎中学校区)で募集をかけて活動をするのか。
- 現状で、大志生木小、木佐上小を小規模特認校とすることは可能か。
- 小規模特認校として進めていこうという話だが、神崎小・上戸次小は一定数の児童が校区外から来ているということで、児童数確保のためにそういった方への通学の補助等をされているのか現状が聞きたい。
- 小規模特認校で通う場合の費用は保護者もちということでよいか。

6 地域協議会について

- 本年度、昨年度と木佐上小学校の入学者が0になった。小学校区内にはもともと入学生がいたけが、適正配置基本計画が学校等を通じて表に出た瞬間に、ここに通わず隣接校に通ってしまった。
実際にそのような話を聞いて、木佐上の保護者もかなり不安になっていることは十分認識していただきたい。
それを踏まえて、協議会を設立した際、在校生だけでなく木佐上地区の未就学児のことも考えて協議を進めていただくよう要望する。
- 地域協議会の人数は決まっているのか。
- 木佐上・大志生木というのはなくなってしまうかもしれない学校になるので、こうざきよりも多くの意見が取り入れられるように、人数を増やさないとと思うが、それに関してはどう考えているか。
- 地域協議会とは各地区ごとのものか、それとも木佐上・大志生木・こうざきを含めて3校で話し合うものを指すのか明確にしてほしい。
- それぞれの小学校区の地域協議会にも教育企画課の方は来て、指導性を発揮していくのか、関わり方をどのように考えているのか、その説明をしてもらいたい。
- 段階的に統合を行った際、協議会は3校ですとあったが、3校の協議会でそろわなくても段階的に進め

ることができるという認識でよいのか。

- 統合の合意は3校の合意であると思うが、その3校の合意が得られないような状況、たとえば木佐上小PTAとしては厳しい状況なので、極力今の在校生のことを考えれば早めに統合したほうが良いという意見が多く集まっている。こういったときに大志生木、木佐上、こうざきと意見が食い違っていた場合、協議会そのものが3校ではなく1校のみの協議会の設立もありえるのか。
- 協議会は校区の人たちがどういう風にやろうかと決めないといけないのか。それとも教育委員会から、例えばPTAの会長さんとか、地区の会長さんとか、特定の方を指名するのか。それとも協議会のなかで、誰を集めて話そうということを決めるのか、そういうところが分からないとやりづらいと思う。
- 校区のどなたがリーダーシップをとってやっていくのか。
- 今日の説明を受けて、私たちはこれからどう動かなければいけないのか。教育委員会が言ってくるまで、何も申しなくていいのか。そういうところを示してくれないと、何も始まらないと思う。
- 一昨年前、神崎中学校で統廃合の説明会があったから、小学校は木佐上、大志生木はなくなるからといって、うわさが一人歩きをして、木佐上小学校は2年間新入学の児童がいなかった。それは、学校がなくなるから、こうざき小学校を選んでいるのであって、本当は地元の方は学校を残してほしい。でも、人数が少なくなって、統廃合という言葉も出てきたので、それは仕方ないと考えているのではないかと思います。たぶんここに来られていない方の中で、やはり地元の学校に通いたいという方の意見もある。来られていないからそういう方の意見は聞けないのですが、そこもきちんと考えてほしい。私も碩田中学校区適正配置地域協議会で傍聴をしてきた。最初は小学校の統廃合の問題だったが、小中一貫校になるというように話が変わっていったということなので、どれだけこの地域協議会が責任を持って話をしないといけない場なのか、ということを知っている方はあまりいないと思う。そういう大事なところをみんなに説明をして納得してから進めないと悪いと思う。野津原のように統合されてから、学校に入ってくる親御さんたちにきちんと説明をしていく必要があると思うが、協議会の自治委員さんだったり、PTA会長さんが入ると若い方の意見が聞けないと思う。
- 地域協議会について碩田中学校区、野津原中学校区の構成メンバーや協議内容について教えてほしい。地域協議会には子どもをもつ保護者が入るほうがよいのでは。
- 協議会に、未就学の子をもつ親の意見が吸収されるようお願いしたい。
- 父兄のみなさんが十分理解していただけるように協議していただきたい。

7 育成クラブについて

- 育成クラブに残った場合、補助がでるのか。
- 昼間仕事をしている。育成クラブ等、放課後が安全に過せるように検討してほしい。

8 校区内の意見集約等について

- 校区ごとの話し合いには自治会も入って話し合いというものもあっていいのではないかと。全体の意見を聞く方法もいいのではないかと。PTAの方も父兄の方も仕事をしている。どこでするかというのが分からないが、やはり耳を傾けさせたいと思う。回覧しないと分からない。統合になったらどうなるか知りたいと思う。
- 大志生木小学校、木佐上小学校がこの後の説明会でどういう集約をされるか。今まとまったような方向になれば、今後の区長会議でどういう協議会にするか、メンバーはどうするか、ということを協議していく。また、地

区で区ごとに説明会をやってほしいという意見が出れば、やっていく。強引に進めることはないので、統合して小中一貫教育とはどういうことなのか、とか、小規模特認校制度とはどういうことなのか、とかもって色々な意見が出るかなと思っていたのだが、ほとんど意見が出なかった。

木佐上小は親御さんたちが、こうぎき小学校に4月に子どもを連れて行きます、ということで早く協議会をしてほしいと校区会長が申し入れをして、教育委員会と事務局と私と両会長とで一度会議をした。そして大志生木小は今日確認したら、区長会で統合へ動く話し合っているようである。こちらは受ける側なので、今後の説明会を待って、こうぎき小としてどう動くかということ、両自治会長さんと協議をする。また、PTA、学校とも協力しながら対応していく。

9 教育のあり方について

- 保護者の方にアンケートをとった内容について報告。小規模校でいきとどいた教育の方がよいという意見と大規模校でもまれて育てた方がよいという意見があった。
- 子どもにとって小規模校での教育がよいのか、大規模校での教育がよいのか、データがあれば教えてほしい。
- 昔、教員として統廃合の経験がある。白木小、一尺屋小、一尺屋中、佐賀関小小黒分校がいきになくなった。学校がなくなり、人口が激減した。地域で学校が育んだ歴史をどう守り、伝えていくのか、子どもたちに大志生木に学校があったことをどうかたちで伝えていくのか大事にしたい。将来、大志生木が大好きという子をつくっていきたくと話している。
子どもに残したい地域を守り抜いて、大人になって大志生木を大事にしていく子どもを育てたい。
- 地域の力、地域の中で学ぶのが当然と思う。統合後、大志生木の地域のことを学ぶ機会が少なくなるので、広い範囲となっても教育できる取り組みをお願いしたい。
- 他の市町で複式解消のため教員を市費でやとって解消を図っているところもある。何らかの配置をしてほしい。

10 その他

- 適正配置を進め方の中で、優先順位1の碩田中学校区の今の現状はどうなっているのか教えてほしい。
- 以前、神崎中学校であった説明と重複する部分が多く、新しい見解が示されて無いようにある。今後の動向についても含めても、示していただければと思う。
- 以前にも話したが、統廃合を進めるだけでは問題は解決しないだろう。教育的効果については統廃合を進めるべきだというのはわかる。しかし、一見何の関係もないような対策もとっていかないと、統合したとしても児童数というのは減っていくだろう。たとえば駅。大分駅からはたくさんビルが見え大都会の様相、牧・高城・鶴崎と駅周辺は建物で囲まれているが鶴崎を過ぎると緑が増える。そして、電車は大在駅止まり、かつては幸崎駅止まりだった。いかに大在までが生活しやすく、言い換えれば、女性が生活しやすい子どもを育てやすい、そういう地域になっているか。このままではJRの最終便数も少ない神崎が敬遠されてしまう。こういうところに手を打ってやらないと、いずれ神崎中学も統廃合の対象になるという事態を作ってしまうだろう。佐賀関中学も以前は1500人いた生徒数が今では70人。神崎も、幸崎駅の便数が減り不便になればこういった状況になってしまうだろう。教育企画課とは関係がないかもしれないが、ほかと連携して手を打っていくつもりがあるのか。こういったことの手立てを考慮しておかないと、いつまでもこの問題がついて回ってくるのではないかと。

- 同じように児童数の減少は佐賀関小・中学校でもおきている。ということは、この統合を進めるということは佐賀関地区の地域の教育をどう考えているのかという問題にもなる。そうすると地域協議会の中で検討されない部分が出てくるのではないか。こうざき・木佐上・大志生木の統廃合に関してはこの地域協議会で検討されているが、佐賀関地区の教育をどうするかという考え方は出てこない。これについてはぜひ、あわせて考えてもらいたい。
- 神崎中学校にある地域連携室がどういう位置づけになっているか聞きたい。作った当初は第2の公民館のように気楽に使っていいということだったが、使い勝手が悪いし、老人会等で少しアルコールを出せばとんでもないことを言うし、あくまでも地域連携室の鍵は地区の自治委員に任せたほうが良いと思う。

神崎中学校区説明会（H26. 5月実施分） 主な質疑の回答

今後の地域協議会の中で、十分協議させていただきます。

1 統合について

- ・統合に向けた準備期間は統合の時期によって異なりますが、最大限の配慮をしたいと思います。
- ・統合の時期は、今後の協議で決めていただくことになります。最大平成30年度頃と考えています。
- ・「段階的に統合」とは、木佐上小と大志生木小の統合の時期がずれることを意味しています。しかしながら、子どもたちにとっては、同時に統合する方が望ましいと考えています。
- ・統合の時期が校区の意見としてまとまれば、教育委員会は十分意向を尊重した取組を行います。

2 通学の安全性と支援について

- ・通学の安全性と支援については、各校区で状況が違います。どのような通学方法で、どのような通学の支援が良いのか、地域協議会で意見を聞かせていただきます。
- ・通学距離の基準は、小学校で4km、中学校で6kmとなっています。

3 小中一貫教育について

- ・現在の連携型の小中一貫教育を継続することを基本に考えていますが、こうざき小学校と神崎中学校は敷地が隣接していることから、協議会の意向であれば併設型を含めて地域協議会で意見を聞かせていただきたいと考えています。

4 校舎等について

- ・統合になっても校舎の改築等は予定していません。児童数も6学年・6学級で推移する予定です。
- ・統合後の校舎の活用については、対象校区の方々の意向をうかがい協議をします。

5 小規模特認校について

- ・小規模特認校に通う場合の費用は保護者負担です。
- ・統合後のこうざき小学校を小規模特認校とすることを検討しています。募集等の事務手続きは教育委員会が行います。

6 地域協議会について

- ・「大分市立小中学校適正配置基本計画」の「目指すべき方向性」を前提に、様々な協議事項を地域協議会で協議し、地域における合意形成を図ります。地域協議会の協議内容を報告書にまとめ、その報告書を尊重して、教育委員会で神崎中学校区の実施計画を策定します。

7 育成クラブについて

- ・育成クラブに入っても補助はありません。放課後の過ごし方についても協議会で意見をうかがいます。

8 校区内の意見集約等について

- ・今後も各校区の意見を協議会において協議したいと考えています。協議の様子は、地域協議会だよりを発行し、地域の回覧板等でお知らせします。児童生徒の保護者には、各家庭に配布します。

9 教育のあり方について

- ・小規模校では一人一人を大切にしたいきめ細かな教育が実践されているものの、その一方で、多様な集団活動を実践することは困難であるなど、学校や地域の努力だけでは解決しない課題も生じています。

・統合により校区が広がります。地域を学ぶ機会については、今後も継続できるよう協議したいと思っています。

10 その他

- ・教育委員会だけでは解決できない課題については、関係各課と連携しながら協議に臨みたいと思っています。
- ・適正配置基本計画は、目指すべき方向性や具体的方策、実施時期等を示しています。今後は、対象校区ごとに適正配置の具体的な内容や方法などを明記した実施計画を策定することにしており、地域協議会を組織して、地域における合意形成を図りながら進めます。

神崎中学校区適正配置地域協議会委員一覧

(敬称略)

校 区 等	氏 名	役 職 等
木佐上小学校	幸野 和夫	木佐上校区自治委員連絡協議会会長
	大石 房則	木佐上小学校PTA会長
	吉野 宏美	木佐上小学校PTA副会長
	後藤 洋江	木佐上小学校PTA5学年学年長
	小橋 佳子	木佐上小学校PTA3学年学年長
	長田 優二	未就学児童保護者代表
こうざき小学校	稲生 亨	本神崎校区自治委員連絡協議会会長
	松尾 彰吾	こうざき小学校PTA会長
	岡野 登美世	こうざき小学校PTA副会長
	村上 由美	こうざき小学校PTA副会長
	小野 まり	こうざき幼稚園会長
	高山 美紀	こうざき幼稚園副会長
大志生木小学校	伊藤 一亀	大志生木校区自治委員連絡協議会会長
	佐藤 正昭	大志生木連合自治会長
	藤澤 治子	佐賀関地区青少年健全育成協議会大志生木地区代表
	江藤 和則	大志生木小学校PTA会長
	渡邊 ルミ子	大志生木小学校PTA代表
	横尾 正美	大志生木児童育成クラブ代表
	伊藤 希美	未就学児童保護者代表
	渡邊 智仁	未就学児童保護者代表
神崎中学校	横田 邦祐	神崎中学校PTA会長
	曾根 聡子	神崎中学校PTA副会長
専門委員	河野 富久美	木佐上小学校長
	甲斐 由信	こうざき小学校長
	須川 啓子	大志生木小学校長
	高橋 和則	神崎中学校長
	御手洗 功	学校教育課長
	池辺 誠	学校施設課長
	奈須 寿郎	教育企画課長